

株式会社 スズタメ 1693年(元禄6年)創業

100年のときを超えて存続する「宮の老舗企業」。
今回は創業315周年を迎えた人形専門店「スズタメ」を訪ね、
事業継続の秘訣と経営革新の取り組みなどを伺いました。

伝統を誇りに、 先端の発想で事業展開

全国屈指の歴史を持つ人形専門店「スズタメ」。その歴史は、元禄6年、初代塩屋甚衛門が宇都宮市池上町に開いた「塩甚」に始まります。

江戸時代は宇都宮藩の御用商人として人形や傘、提灯などを製造販売していましたが、明治に入つて人形専門となり11代・鈴木為吉が「鈴為」と改名。昭和10年には12代・静之輔が馬場町に斬新なデザインの新4階建てビルを建設し、宮つ子たちの度肝を抜きました。残念ながらビルは宇都宮空襲で焼失してしまいましたが、東京から建築士を招いて建てた上層部が宮風で外装がタイル貼りの洋風ビ

ルは、今もバンバの人たちの語り草になっています。

事業展開のターニングポイントは昭和38年。戦後、人形以外に洋装生地やメガネ、化粧品、玩具などを商っていた13代・恒雄が時代の先を読み、スーパーマーケット

事業を開始しました。その時に修業先の東京から呼び戻されたのが現社長の14代・賢一氏。「まだスーパードが珍しい時代でした。手探りながら、お客様の声に応える店づくりを目指しました」と、父親と二人三脚で経営にあたった日々を懐かしく振り返ります。

先代の読みは見事に当たり、昭和44年には大曾にスーパースズタメを出店。続いてユ



華やかなデザインが目目をひくラッピングバス

スズタメは培ってきた人形店の歴史を紡ぎ続けました。そして昭和63年、社長に就任した賢一氏は約30年続いたスーパード事業を打ち切り、再び人形専門店として新たな道を歩み始めました。

「店名も『鈴為』に戻しました。この名に恥じない商品を売り、お客様に喜んでいただきたいたいという気持ちで自然にわいてきます」と伝統の重みを噛み締める賢一氏。店内に太鼓橋を設えた人形会館大曾店をオープンさせたり、独自の広報誌を発行したり、いち早くラッピングバスを使った広告展開を開始するなど、その経営手腕には代々引き継いできた「先端の発想」が光っています。

代表取締役 鈴木賢一氏

ニオン通り店、佐野店を開店し、全4店舗でスーパード事業を展開してきました。しかし、どんなにスーパード事業の業績が伸びても「常にスズタメの本分は人形専門店という自負心があります」と、

現在は本店(馬場通り)、大曾店、駅前店、今市店の4店舗で、店内には雛人形や五月人形、盆提灯、正月飾りなど季節ごとの商品が並びます。各店舗それぞれに個性を持たせ、雰囲気や商品構成を変えているのは、「お客様に選ぶ楽しさを味わってほしい」という専門

店ならではのこだわり。商品はほとんどが鈴為オリジナルです。

「中でも雛人形は、全国の職人さんを訪ね歩き、人形の着物の生地や小物など素材からすべて自分の目で確かめ、個別に発注して組み上げます。時間も労力もかかりますが、中間業者を通さず製造段階から関わることで、お客様に良いものを安価で提供することができるとです」と副社長の鈴木雄一さん。

時代のニーズを読み、作り上げるオリジナル商品の数々。その一つひとつに、スズタメの伝統に裏打ちされた先端の発想と専門店としての誇り、そして商品への溢れるほどの愛情が注ぎ込まれています。



平成元年にオープンした人形会館駅前店

鈴為

バンパード通り本店 宇都宮市馬場通 2-3-4 ☎028-636-3320	人形会館大曾店 宇都宮市大曾 4-2-15 ☎028-622-1818
人形会館駅前店 宇都宮市元今泉 6-4-10 ☎028-660-1010	人形会館今市店 日光市森友 1509-17 ☎0288-23-0023

〈営業時間〉10:00~18:30
URL <http://www.suzutame.com>

※このコーナーは隔月で掲載します。